

3D プリンターのデータ作成のスキルを向上させるには、とにかくいろいろなものを自分で作ってみることが大切です。材料になるのは、細いプラスチックをリールに巻いた「フィラメント」と呼ばれる素材です。フィラメントにはさまざまな種類、色があります。中には蓄光素材を含有したフィラメントもあり、蛍光灯や太陽光を当てたあとに暗い場所で見ると、しばらくの間光り続けます。蓄光フィラメントには緑、青、桃色、黄色などがありますが、緑が一番性能が良く長時間明るく光ります。

その蓄光フィラメントを使って、ホタルイカのマグネットを作ってみました。ホタルイカは身体すべての部位が光るのではなく、主に胴体の斑点状の発光体と、脚の発光器が強く光ります。完全に再現するのは難しいのですが、ちょっとキャラクターっぽく、かわいらしい感じにデータを作ってみました。

写真の左が明るい場所で見た姿、右が光に当てたあと暗い場所で見た姿です。ご希望の方はお知らせください。お送りします！

